創立 1951.1.1　承認 1951.3.23　登録番号 7734

イマジン ロータリー

2022-23 RI会長
ジェニファー・ジョーンズ

国際ロータリー第2530地区　2022-23年度

福島ロータリークラブ会報

Rotary

■例会場　福島市上町4-30 クーラクーリアンテ サンパレス
■例会日　木曜日12:30

vol.38

事務所　福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F　TEL024-536-1010 FAX024-536-1011
WEBサイト　http://www.f-rotary.com
E-mail　f-rotary@guitar.ocn.ne.jp ／ info@f-rotary.com

［ホームページ］　［Facebook］

Diversity 多様性　Equity 公平さ　Inclusion 包摂性

本日のプログラム〈第38回例会・2023年6月1日〉

地区研修・協議会 参加報告

会長部会／幹事部会／会員増強委員会／公共イメージ委員会
職業奉仕委員会／社会・国際奉仕委員会／青少年奉仕委員会
ロータリー財団委員会／米山記念奨学会委員会

ロータリーの目的
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することである：
第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

会長あいさつ

2022-23年度会長　**相良 元章**

皆様こんにちは。それでは会長あいさつをさせていただきます。

前回の例会出席が5月11日ですので、21日ぶりのご挨拶でございます。

その間に地区研修・協議会が開催され、台湾遠征があり、インターアクト、ローターアクトによる三者合同新世代会議がございました。

台風による雨の心配がございますが、明日からは東京交歓会と米山記念館訪問ツアーが予定されております。

今年度も押し迫った中ではありますが行事が目白押しでございます。ご担当される皆様には、本当に頭の下がるおもいであります。ありがとうございます。

そして本日は只今月初めの誕生祝いがございましたが、もう一つお祝いごとがございます。それは、渡邊又夫会員が5月30日をもちまして、ダイヤモンド婚（結婚60年）を迎えました。この度、渡邊会員から報告をいただき、クラブの慶弔規定を確認したところ、第1条第一項に「会員が金婚記念日を迎えた時」にお祝いを差し上げるということになっておりました。渡邊会員どうぞ壇上にお進みください。この度は金婚式以来、10年間も大変失礼いたしました。特に金利も付いてございませんが、お祝いの記念品をお贈りさせていただきます。

とはいえ、事務局では皆様の結婚記念日を把握しておりませんので、該当される方はぜひお申し出ください。

渡邊会員おめでとうございます。

幹事報告

吉田大樹 幹事

- 本日午後5時30分より新年度理事会、午後6時30分より本年度6月理事会が開催されます。新旧役員、理事の皆様はよろしくお願いいたします。
- 明日、6/2（金）午後6時より、「東京芝とうふ屋うかい」にて東京交歓会を開催いたします。親睦小委員会の皆様は午後5時までには現地にご集合ください。また、米山記念奨学会委員会主催の「米谷梅吉記念館訪問ツアー」が2日（金）、3日（土）の2回に分けて開催いたします。両日とも6名ずつ参加となっております。
- 6月ロータリーレートは1ドル140円となりますのでお知らせいたします。

例会次第

- 開会点鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング「奉仕の理想」
  ソングリーダー　渡邊又夫 会員

渡邊又夫 会員

- 「四つのテスト」唱和　後藤忠久 会員

後藤忠久 会員

- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
  古俣 猛 会員
  米山記念奨学生
  グェン ティフォントゥク さん

グェンティフォントゥク さん

- 6月誕生お祝い
- 米山記念奨学金　6月分支給
  米山記念奨学生
  グェン ティフォントゥク さん
- 各委員会報告
  例会小委員会　ニコニコBOX担当
  寺田 充 委員

寺田 充 会員

例会プログラムのご案内

■6月15日（木）　12：30～「クーラクーリアンテサンパレス」
【通常例会】
クラブ委員会委員長 年間活動報告
親睦小委員会・例会小委員会・情報小委員会・米山記念奨学会委員会
公共イメージ委員会・職業奉仕委員会（各委員会3分程度）

本日の講師　鉢村　健 様

略　歴

1982年　日本銀行入行（1982-1984 福島支店）
2005年　福島支店長
2008年　ベトナム中銀顧問
2011年　内閣官房審議官（東京電力経営調査委員会）
　　（福島復興対策本部審議官）
2012年　復興庁政策参与（福島担当）
2013年　日本銀行神戸支店長（2014年8月退職）
現　在　令和総研㈱　代表取締役
　　凸版印刷㈱　顧問
　　日本化学産業㈱　取締役
　　アレンザHD㈱　取締役監査等委員

地区研修・協議会 参加報告

会長部会／幹事部会／会員増強委員会／公共イメージ委員会／
職業奉仕委員会／社会・国際奉仕委員会／青少年奉仕委員会
ロータリー財団委員会／米山記念奨学会委員会

箱岩 偉
会長エレクト

会長会報告

去る5月13日（土）、パルセいいざかにおいて、RI第2530地区2023-24年度地区研修・協議会が開催され、その中で会長部会に参加いたしました。

セッションⅠでは、右近八郎ガバナーエレクトから、RIテーマ「CREATE HOPE in The WORLD 世界に希望を生み出そう」と、地区スローガン「ENJOY the ROTARY PRIDE！　ロータリーの誇りを楽しもう!」、永続性の確保　精神性の充実の地区基本方針や目標が説明され、会長の役割と責務について講演がありました。

また、石黒秀司戦略計画委員長から、各クラブで戦略計画委員会を設置すること、中長期的な戦略計画を検討することなどの説明がありました。

RCの戦略計画作成においては、手続き要覧記載のロータリーのビジョン声明と4つの優先事項を何回も熟読するよう説明がありました。

当クラブは、すでに戦略委員会が設置されており、改めて当クラブの質の高さを実感することとなりました。

セッションⅡでは、佐藤正道危機管理委員長からは、地区危機管理委員会について、説明がありました。

この場での具体的事例説明については割愛させていただきますが、過去に発生したRC関係のハラスメント事例の紹介があり、その後実際に自分のクラブでその様な事案が発生した場合の正しい対処方法をクイズ形式で学びました。

自分にはその気がなくとも、相手の受け止め方ひとつで、いつ誰が加害者や被害者になるか分からないため、十分な注意が必要だと再認識しました。

また、青少年交換の3条件（地区の法人化、賠償責任保険加入、危機管理委員会設置）についても説明がありました。

また、平井義郎地区運営管理委員長からは、地区事務所運営について

①地区運用マニュアル作成
②ガバナー月信のPDF化
③交通費・移動時間等の負担軽減の為、ZOOM等のWEB会議活用推進
④クラブの活動やさまざま悩みにいち早く対応し、支援するため、ガバナーとのホットラインの構築
⑤地区事務局員用携帯電話の設置検討など、地区運営のスリム化に取組むことが説明されました。会長を務めるに当たり、大変勉強になる有意義な研修でした。

以上、ご報告申し上げます。

中川宏生
次年度幹事

幹事会報告

セッションⅠ最初の大橋PGによる講話では、幹事は自らの役割および責務をしっかりと認識し、会長と連携を密に、情報の管理を適確に行うことが重要であると説明されました。ロータリーのためにとにかく一生懸命やる事は大きな感動を生み出すと強いメッセージをいただきました。

続いてRLI委員会の年間予定についてRLI委員会佐藤委員長よりご案内いただきました。ロータリーを知ることでロータリーが楽しくなる。幅広く多くの方に参加していただくようお話がありました。さらに松崎チームリーダーよりRLIの目的・意義について説明があり、①多くの会員の受講② ディスカッションリーダーへの就任③RLI方式によるクラブの課題解決、の3点について要請がありました。

セッションⅡでは、次期地区研修リーダー芳賀PGより「ロータリークラブはリーダーが毎年替わるため、組織として一貫性を持って継続・発展するためには学び続けることが必要で、地区研修委員会はこれを支援するものである」、続く地区規定委員会についての説明では「すべてのロータリークラブおよびローターアクトクラブが守るべき決まりとして各定款・細則があり、これについての説明と、地区規定委員会の役割としてクラブの定款・細則がRI組織規定と整合性がとれているかチェックしていく」などと述べられました。

最後はRIテーマと地区方針について右近八郎ガバナーエレクトよりお話しいただきました。特に幹事に関連する事としてはロータリーを機能体として見た場合、効率的な運営とリスク管理が必要であり、これはクラブ幹事の役割と話されました。ロータリー活動を楽しいものとするためには通常の例会はもちろん各種交流も促進するべきで、公共イメージの向上も必要であると述べられました。

幹事に関する研修は分区でも開催されておりましたが、いよいよ就任が迫ってきたこともあり、改めて幹事の責務の重さについて感じる機会となりました。

鈴木朋恵 会員

公共イメージ委員会

セッションⅠでは、まず初めに町田晃委員長より公共イメージ委員会の活動方針について説明がございました。

委員会のキャッチコピーを「PUBLID IMAGE FOR HOPE（希望につながる公共イメージ）」とし、各クラブの「広報活動」及び「公共イメージ向上活動」を支援、そして、ロータリーの認知度、公共イメージ向上、クラブ活性化に貢献するため、マスコミとの連携等を力強く実施していくとの説明がありました。

次に渡邊万里子委員より2022-23年度の公共イメージ・IT委員会にて、一般向けに広報を行うためのホームページを作成したとの報告がありました。

次に善方邦彦副委員長よりロータリーとマスコミの連携について説明があり、ロータリーの活動を知っていただくことによりロータリーのファンを創り出し、ファンになってもらうためには、一人ひとりが広告塔になることが必要と述べられました。

次に佐藤真也委員より2020年度に実施されたロータリー認知度調査結果について説明があり、その調査後ロータリーの認知度を向上させるべく、ロータリー広報専用ホームページの作成、地方新聞広告掲載、ラジオ番組へのCMを実施し、その効果を測定すべく2023-24年度内にロータリー認知度調査を再実施する予定であることが発表されました。

次に佐藤壮一郎委員より各クラブへのお願い事項を伝えられました。まず、RIが定めている正しいロータリーロゴマークの使用にご協力くださいと述べられました。その後、各クラブで実施した公共イメージアップに活動をお知らせいただき、公共イメージホームページに掲載し、各クラブの活動を支援する旨の説明がありました。

最後にセッションⅡにて、町田晃委員長より第2530地

区における2023-24年度 ポリオ根絶キャンペーンについて発表がありました。世界ポリオデーに実施するエンドポリオキャンペーン企画を募集し、採用された企画については世界ポリオデーキャンペーン活動に取り入れるので奮ってご応募いただきたいとの説明がありました。
以上、公共イメージ委員会の報告となります。

加納武志 会員

職業奉仕委員会報告

初めに阿久津肇PDGより職業奉仕のロータリーにおけるポジション、精神、歩みについての説明がありました。その中で「職業奉仕はロータリーの真髄である」との話をされました。

次に猪俣委員により「大連宣言」についての話があり、我々ロータリアンが、職業人として行動する際の守るべき倫理感の話がありました。

さらに斎藤委員長から、次年度職業奉仕委員会基本方針と事業計画についての説明がありました。

2023-24年度職業奉仕委員会事業計画

1.職業奉仕「寛容塾」の開講
2.阿久津肇職業奉仕講演語録集の上梓
3.地区研修員会・基調講演の開催
4.委員会セミナー「職業奉仕塾セミナー」RLI方式によるディスカッション
5.DL育成のためのRLIへの参加
6.職業奉仕研究会の設立
7.ガバナー月信に寄稿

職業奉仕については非常に抽象的であり目的や意義を理解するのには難しい委員会だと感じました。本年度は一年を通じて自分なりに勉強をしてロータリー活動における職業奉仕とは、どういう事なのかを勉強し理解する為に委員長を指名されたと考え、他の委員の皆様の力を借りて委員長として頑張っていきます。

佐藤良智 会員

社会・国際奉仕委員会報告

地区では、社会奉仕委員会と国際奉仕委員会の2つが一緒になっているので、一緒にご報告いたします。

セッションⅠでは、酒井善盛パストガバナーよりご挨拶をいただき、その次に社会・国際奉仕委員会の白岩薫委員長より委員会の説明をしていただきました。社会奉仕委員会の活動計画を、渡辺勝委員長より説明いただきました。

その内容は、1.地区内各クラブの社会奉仕活動の支援。2.インパクトのあるプロジェクトの支援。3.メンタルヘルスの調査。4.セミナーの開催。こちらは9月9日土曜日にビックパレットで開催予定です。

続いて、国際奉仕委員会の活動内計画を、細川将司委員長より説明いただきました。

こちらの内容は、1.各クラブの国際奉仕活動の支援。2.RI3350地区のデータ収集。こちらは昨年RI2530地区とRI第3350地区の友好締結したことにより、地区として第3350地区の問い合わせがあった場合に対応できるように勧めている内容になります。3.ポリオ根絶に向けての活動と支援。

セッションⅡでは、公共イメージ委員会との合同セッションになりました。

まず、社会・国際奉仕委員会の白岩委員長より、ロータリーとポリオについてお話しいただきました。内容はポリオの現状・ポリオの種類等をお話しいただきました。続いて、公共イメージ委員会の町田委員長より、ポリオ根絶キャンペーンについてお話しいただきました。

設営からセッションまでの全体を通して、2つの委員会が合同セッションになる動きで、ばたばたした感がありましたが、参加していただいた皆様にはしっかり聞いていただけたのはよかったと思いました。

以上で社会・国際奉仕委員会の地区研修・協議会のご報告になります。

菅野 晋 会員

青少年奉仕委員会報告

分科会セッションⅠでは、はじめに地区青少年奉仕委員会の大木委員長より、次年度の地区の青少年奉仕委員会の運営方針などについて説明がありました。その後、それぞれの小委員会より具体的な活動目標についての説明がありました。インターアクト委員会からは岡田副委員長が、RYLA委員会からは中目委員長が、青少年交換委員会からは藤田委員長が、活動内容についてそれぞれ説明をしました。

特に、令和6年6月8日から9日に郡山の地で、第16回全国RYLA研究会を開催する予定となっており、地区RYLA委員会が主管するので協力して欲しいとの話がありました。

また、次年度の青少年交換プログラムの参加予定者は3名程度で、地区内のクラブに募集依頼をするとのことです。地区事業として青少年奉仕セミナーを開催するので参加するよう依頼がありました。

分科会セッションⅡでは、ローターアクト委員会の渡辺委員長からは、ローターアクトの活動の概念の説明を、地区ローターアクトの堀下直前代表からは、今年度の地区ローターアクトの具体的な活動内容についての説明がありました。学友委員会の廣澤委員長からは、ロータリークラブの様々なプログラムに参加経験のある学友が、沢山いることから、学友のネットワークをロータリークラブの活動に活かすべきだとの話がありました。

大槻美恵子 会員

米山記念奨学会委員会報告

米山記念奨学会事業の使命は、将来日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育てることだそうです。吉田委員長からはより良い運営のためにクラブで普通寄付や特別寄付の増進を目指し、事業の理解推進を図る工夫をお願いしたいというお話がございました。

この事業は、日本のロータリーの創設者である故米山梅吉氏の偉業を記念し「1カ月に一箱のタバコ代を節約して奨学金に寄付しましょうね」という合言葉で始まったそうです。今では累計で奨学金支給者は2万2000人を超えております。“何事も人々からして欲しいと望むことは人々にもその通りにせよ”これは米山梅吉氏の願いであったということ、そしてご自身の生涯そのものだったそうです。私も世話クラブ・カウンセラーとして、THUC（トゥク）さんの望むことをして差し上げたいと思っております。まずは彼女が大好きなカラオケを思う存分お付き合いしたいな！と予定しております。

研修リーダーの石黒PGが米山病（米山が好きすぎる病）に罹患した原因について言及しておりました。それは米山体験発表会で中国人奨学生の『人生は夢だらけ』という発表を聴く機会に恵まれ、その壮大な夢に感動したからだそうです。いったい自分の夢はどこに行ってしまったのだろう！どうして、風船のようにしぼんでなくなってしまったのかと自問自答したと仰ってました。私もTHUCさんから多くの刺激をいただき、再び風船を膨らますことができるような挑戦の機会（opportunity）に貪欲でありたいと感じた委員会でした。以上簡単ですが分科会での報告といたします。

●茂田　士郎 会員
昭和10年6月1日
●浦部　　博 会員
昭和11年6月8日
●加藤　義朋 会員
昭和11年6月9日
●加納　武志 会員
昭和34年6月6日
●安斎　圭一 会員
昭和38年6月25日
●廣山　祐治 会員
昭和41年6月2日
●本多修一朗 会員
昭和51年6月27日

私のひと言

福島テレビ㈱
代表取締役社長
横山 淳 会員

一昨年2月、昨年3月と震度6クラスの地震が続いたので、今年もボチボチかな、と思っていましたがまだありませんね。初めの地震の時はマンションが倒れるかと思いました。しかしワインセラーは倒れ壊れましたがマンションは倒れず、以来あの程度ではマンションは倒れないことがわかりすっかり安心しています。

でもワインセラーはロックがかかる大型に買い替え、強力つっぱり棒で固定しました。食器棚の中も工夫をしたし、グラス用キャビネットも固定し観音開きのガラス扉も勝手に開かないようにしました。地震に自信が付きました。

今後同程度の地震が発生した場合、どの程度の被害で済むか見ものです。形あるものは壊れてもまた直ぐに新しい良いものを用意できます。しかし形のないものは一度壊れたら戻りません。壊さないようにしたいと思う今日この頃です。信頼、信用、愛情、友情…。

米山記念奨学金　6月分支給

■米山記念奨学生
グェン ティ フォントゥクさん

ダイヤモンド婚　お祝い

渡邊又夫会員、5月30日結婚
60周年・ダイヤモンド婚、
おめでとうございます。

「三者合同新世代会議」開催

5/27（土）、福島RC・福島東稜高校IAC・福島学院大学RACによる三者合同新世代会議が開催されました。

ニコニコBOX報告

●報告　寺田 充 委員　　本日の投入額 39件

〈メッセージ会員〉

〇浦部 博 会員
誕生祝いありがとうございます。何の自覚もなく年を重ねてしまいました。どうやって年齢にふさわしい知恵と風格？を身につけられるのか…これからの課題です。（昔の米寿です）

〇大槻 美恵子 会員
地区研修・協議会参加報告させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

〇加納 武志 会員
5月27日～30日まで、メルボルンで開催された世界大会に出席してきました。世界のロータリアンが一同に集まり、素晴らしい大会でした。

〇茂田 士郎 会員
6月誕生日のお祝い有難うございます。

〇坪井 大雄 会員
右近ガバナーエレクト、加納武志会員、管野裕一会員、お帰りなさい。メルボルン国際大会おつかれ様でした。また、登録協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

〇細田 修二 会員
福島ユナイテッド農業部の地域連携の取り組みをNHKの全国放送と東北各県向けの放送で紹介させていただきました。

〇渡邊 又夫 会員
ダイヤモンド婚お祝いありがとうございます。

〇相良 元章 会長
先週27日土曜日に、福島学院大学ローターアクトクラブがホストとなり「三者合同新世代会議」が開催されました。若者達の真っすぐな意見に心から感動しました。意義ある活動に拍手です。

〇他に 安藤健次郎／安藤正明／内池 浩／小原 敏／小原孝嗣／加藤弘樹／小林仁一／古俣 猛／坂本壮敏／佐藤英典／佐藤良智／清水 茂／白岩康夫／菅沼 裕／杉山 淳／鈴木恭一／鈴木朋恵／善方邦彦／高田博樹／丹治正博／寺田 充／中川宏生／箱岩 偉／畠山良平／藤井 守／村上守人／村山成也／村山由美子／森岡幸江／柳谷葉一／吉田大樹